

公開承認施設 認定記念展

島津の至宝

~文化財と地域博物館の魅力~



新城



国重要文化財 朝鮮図書 (都城島津邸蔵)



国宝 島津家文書・天正十六年豊臣秀吉朱印状 (刀狩令 東京大学史料編纂所蔵) (部分)



国宝 短刀：銘 吉光 (公益財団法人立花家史料館蔵)

英一峰画 上農工商園屏風(板橋区立美術館蔵)

白糸裾聴徳紺威鏡 島津斉彬着用 (東京富士美術館蔵)

SHIMAZU MIYAKONOJO

島津の至宝が受け継がれた歴史を知る

■開館時間

9:00 から 17:00 まで
(入館は 16:30 まで)

■休館日

月曜日
(月曜日が祝日の場合はその翌日)

平成29年

1.21 **土** 3.5 **日**

■観覧料

大人400円(350円)
大学生・高校生300円(250円)
中学生以下無料
※()内は 20 名以上の団体料金
※本宅別途 100 円

開催 展示解説講座

日時 ①平成29年1月21日(土) 14時00分~15時30分
②平成29年2月19日(日) 14時00分~15時30分

場所 都城島津邸 伝承館展示室

講師 都城島津邸 学芸員

入場料 観覧料が必要



都城島津邸
Miyakonojo Shimazu Residence

〒885-0055 都城市早鈴町 18 街区5号
TEL 0986-23-2116 FAX 0986-36-4019

I

文化財とは



都城市指定文化財・貝薬時絵鞆 (都城島津邸蔵)

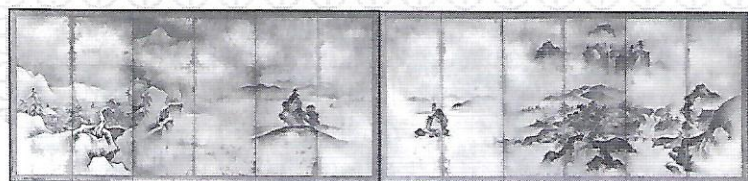
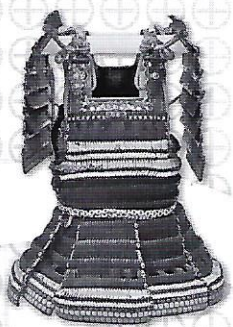
都城島津家より都城市へ同家史料及び邸宅が譲渡されたことにより、都城市は建造物・古文書等・御道具類を三位一体で保存・公開し、かつ観光の拠点ともなる都城島津邸を整備し、平成22年に開館しました。以後当館は、地域の方々に対して、同家史料や国宝・重要文化財等の貴重な史料を用いて地域の歴史を紹介してきました。

そして、平成27年8月27日、文化庁から「公開承認施設」の認定を受けました。この認定は県内初、全国で144件目(現在は114件)、南九州でも2件目であり、県内外から注目を浴びました。この「公開承認施設」としての役割は大きいものがあり、地域の歴史学習に資するため、重要な資料を保存・展示公開するだけでなく、南九州を範囲とした文化財保存・公開及び学芸技術の普及についても地域貢献することが求められています。

本展では、公開承認施設認定を記念して、文化財の大切さや地域博物館の重要性、公開承認施設の意義について、都城島津家による史料保存公開の歴史をひもときながら紹介します。

江戸期における都城島津家の史料保存と活用

II



狩野常信画 四季山水図屏風 (東京富士美術館蔵)

国重要文化財 紺糸威紫白肩裾胴丸 大袖付 (都城島津邸蔵)

公開承認施設認定記念展

島津の至宝

～文化財と地域博物館の魅力～

平成29年
1.21日(土) - 3.5日(日)

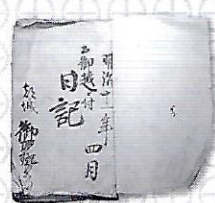
島津の至宝が受け継がれた歴史を知る

詳しくはQRコードでチェック!!

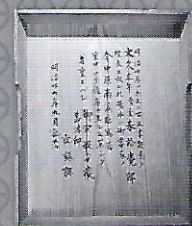


III

近現代における都城島津家の史料保存と活用



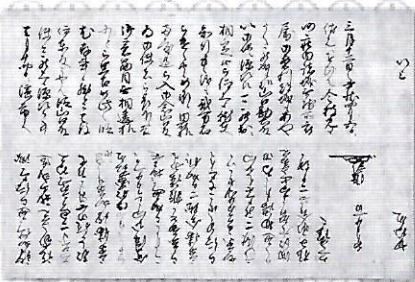
明治における都城島津家日誌 (都城島津邸蔵)



御文書令臨外箱 (都城島津邸蔵)

文化財と地域博物館の魅力

IV



国宝 島津家文書(慶長5年)卯月11日付島津義弘書状 (東京大学史料編纂所蔵)



五世市川海老蔵の碓井荒太郎貞光 (足立区立郷土博物館蔵)

◎案内図



会場へはなるべく、鉄道・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

MIYAKONOJO

〒885-0055 都城市早鈴町18街区5号 TEL 0986-23-2116 FAX 0986-36-4019 <http://www.city.miyakonojo.miyazaki.jp/shimazu/>